

高松新市長にインタビュー



2月4日、佐藤前市長から市政のバトンタッチを受ける高松新市長(左)



▲職員を前に訓辞を述べる高松市長

本宮市長選挙は1月16日に行われ、本宮市の第二代目の市長に高松義行氏が当選し、2月4日に就任しました。任期は平成27年2月3日までとなります。
就任したばかりの高松市長に、財政問題、教育問題、産業の振興対策などの課題にどのように取り組んでいくかについてインタビュー形式でお答えいただきました。
【インタビュー】 秘書広報課長

■最初に取り組む課題は

なんででしょうか

やりたいことは沢山ありますが、まずは3月の定例議会にて23年度予算を成立させていただくことです。

それが終われば、市民サービスの質の向上について「ステップアップ」ということばで選挙期間中に皆さんにお伝えしていました。これは課題というより、自分がやりたいこととして、まず現場に向き、地域の方々とお話しをしながら、市民の方々が何を望み、どんなサービスを必要としているのかという事を自らの目と耳で確かめ、市政に反映したいと思っています。実態を知ることが大切だと思っております、そこから入っていきたいと思います。

大きな課題としては、財政健全化をいかに堅持していくかということだと思えますし一番大事な部分ですが、それを踏



▲就任から5日目の2月8日にインタビューしました

まえてサービスの向上をどのようにしていくかというのが課題であると考えています。

■産業の振興対策についての

お考えは

本宮市の持つポテンシャル・可能性はとても高いものがあり、県内でも利便性に優れた街であります。

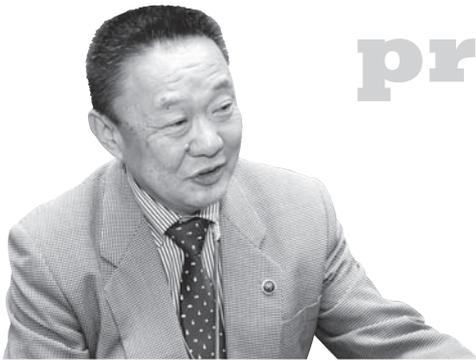
また県内で一番小さな市であります。その小さい市の特性を逆に生かしていけるような優位性・有利性というのは、すぐ波紋として広がるし、それがすぐ返ってきます。農業、商業、工業のスピーディなサービスをどうしていくか、それは小さな市のほうが、やりやすいのではと考えています。

工業については、進出企業はじめ地域の企業の方々のフォローアップをどういう形ができるのか、窓口も一本化し、新

profile

新市長プロフィール

昭和29年12月2日生まれ 56歳



趣味は「落語鑑賞」。特に二代目桂 枝雀さんの大ファンで、DVDは全巻そろえています。
好きなことばは「小欲知足」。欲が少なく、わずかなもので満足するという自分への戒めとして、いつも心に秘めたいと思っています。



たに企業誘致もきちっとやっていきたいと思っています。

農業については、基幹である稲作をしっかりと支えていきながら、前市長がつくっていただいた販路を生かし、どう本宮を発信していくかという点ではないでしょうか。

そこに商業をどのようにからめて、活性化に結びつけていくか、非常に難しい問題ですが、じっくりあせらずやっていくのが大切だろうと思っています。

■子育て支援についての考えは

子育てが安心してできる環境と、このことで、ひとは幼保一元化の施設をどのような形でつくっていくかですが、市民の皆さんがいろいろなものの中から選択できる可能性を作っていくというのが大切なことと考えています。

これまで、本宮市は子育ての支援は手厚いと思っています。今後はお母さん、お父さんがもっと積極的に、心にゆとりをもって子育てをできるような環境をどうつくっていくかだと思いますが、それらを中心的にやっていくのは「えぼか」だと思います。そしてサニタイト型で「各

地区にえぼかのノウハウ・プログラムを出張型でできないか」そういうことを考えていくと、もつすこし充実したサービスができるのではないかと、夢を含めての話ですけれども、そういう方向で進んでいければいいなと思います。

■教育問題についての考えは

「本宮に住みたい」と思っていただけのために、子育ても環境も充実している必要があります。教育も充実していないと住みたいと思う人たちが増えていかなければいけません。そのためには教育をワンステップレベルアップしていく必要があります。

生涯学習や文化の向上であるとか、本宮は基盤があるので、市のサポート体制をどうしていくか、スポーツについてもそう考えます。優秀な指導者がフォローしていくことによって、また違った環境となります。ある程度時間をかけながらやっていくと、効果はでてくるはずですよ。

■高齢者、障がい者など福祉についての考えは

ノーマライゼーションの考え方や年配の方々の豊富な経験と知識を後世にどう伝えていくか。生き甲斐をもっていたいただけるよう交流と対話が必要であると思っています。丈夫で元気であるためには体づ

くりも大切だし、責任をもっていただくという機会作りも大切と思っています。障がい者の方々には、きちっと対応できるように行政としてフォローしていきたいと思っています。

■社会基盤の整備について

欲を言えばきりがありませんが、本宮市は道路、施設に関しては概ね整っていると思います。どう利用していただくか、維持をどうするか、細かいところに配慮できるインフラの整備が必要と考えます。そのためには現場にでて、そこに住む人たちが何を望んでいるのかを把握し、限られた予算を上手に利用して効果をだしていきたいと思っています。職員の協力をもらいながら社会基盤整備を進めていきたいと思っています。



▲市長のバッジを胸に初登庁